



第46回 仙台市立南光台中学校 卒業証書授与式

南光台中HPはこちらから。
ブログもご覧ください。

答 辞 卒業生代表 K・Y

雪解けとともに、春が見え隠れする季節となりました。本日は、私たち、94名の卒業生のために、このように盛大な式を挙行していただき、あつく御礼申し上げます。

長いようで短かった三年間。瞳を閉じると、その一瞬一瞬が、今でも鮮明によみがえってきます。3年前の4月、私たちは、少し大きな制服に身を包み、新生活への期待を胸に、南中生として初めて校門をくぐりました。ここが、私たちのスタートラインでした。難しくなった勉強、先輩や後輩との、学年を超えた絆。ときには、人間関係に悩んだり、部活で上達できなかったりと、私たちは様々な壁にぶつかりました。しかし、そうした壁にぶつかるたびに、様々な方が手を差し伸べてくれました。先生方。ご迷惑をおかけすることも多い私たちだったと思いますが、それでも、「やればできる!」と私たちの可能性を信じ、声をかけ続けてくださいました。

特に印象深いのは、野外活動のキャンドルサービスでの言葉です。クラス全員が一つの円を作り、ろうそくの淡い光のなか、普段言えない本音と感謝を伝え合いました。そのとき、涙ながらに、私たちへの思いを語ってくださった先生の姿に、私たちは、心を突き動かされ、深い愛情を感じました。それは、本音で語り合うことが少なかった私たちにとって、大きなターニングポイントとなり、学年全体を見つめ、人として変わるきっかけになりました。先生方、本当にありがとうございました。これから、それぞれ歩みだす私たちを、温かく見守っていただければ幸いです。

そして、私たちにとって、真価が問われる一年がやってきます。この3年生としての1年間は、悩み、苦しみ、もがく日々の連続でした。何度も自信をなくし、自分を嫌いになることもあります。多くの壁が立ちはだかる3年生だからこそ、学年の結束が必要でした。しかし、一人一人の色が濃い私たちは、全員の色がうまく混ざらずに、ただただ黒くなってしまうことがあります。それでも、中学校生活最後の、という言葉を口にする機会が増えるにつれて、この学年で過ごせるのは、残り少ない時間であると実感しました。一人一人がそう考えることにより、仲間のため、そして自分自身のために、私たちは本気で汗や涙を流せるようになりました。こうして私たちは、お互いに色を引き立て合い、私たちだけの1枚の絵を描くことができるようになりました。この宝物のような日々を私たちは一生忘ることはできません。みんな今までありがとうございました。いつまでも、ずっと、仲間だよ。

在校生の皆さん、素晴らしい予餞式をありがとうございました。世の中には、多くの出会いがありますが、こうして皆さんと出会えたことは、まさに奇跡です。そして、みなさんと過ごした日々の思い出は、今もこの胸に溢れています。これからは、みなさんが南中の代表であり、顔となります。共に同じときを過ごした私たちにとって皆さんは自慢の後輩です。胸を張って、南中を引っ張っていってください。また、ご来賓の地域のみなさま。私たちの中学校生活を、こんなにも多くの方々が支えてくださっていたのかと思うと、喜びと、心強さでいっぱいです。3年間、ありがとうございました。

そして、私たちを常に一番近くで支えてくれた保護者の皆様。十五年という長い月日をかけて、愛情深く育て、寄り添ってくださったおかげで、今の私たちがあります。それぞれの家庭での思い出や絆はそれぞれでしょうが、ただ一つ、私たちに共通した思いがあります。それは、「今までありがとうございました。これからもよろしく。」面と向かって言うのはまだ恥ずかしくて言えないかもしれません。しかし、家族が深く愛情を注いでくれたことを、私たちはしっかりと受け取っています。いつか、どこかで、必ず感謝を伝えて、私たちはより広い大空へと羽ばたいていきます。その日まで、もう少しだけ待っていてください。

たくさんの人たちに手を差し伸べられ、私たちは卒業を迎えます。ここまで積み重ねてきた南中での三年間は、一秒たりとも無意味なものなどなく、一瞬一瞬が、かけがえのない思い出です。これらの思い出を胸に、これから的人生をがむしゃらに生きていこうと思いまます。私たちは、これまでの生活をとおして、多くの喜びを経験し、ときには悲しみにも触れてきました。そして、そうした経験の分だけ、強く、優しくなれることを知りました。今日、私たちは、南中生として最後の校門をくぐります。そして、明日からは、一人一人が新しい生活を始めます。この先に、どんな未来が待っているのか。そんな不安も、ここにいる仲間がいれば、きっと期待や自信へと変わることでしょう。そうすれば、これからも、ずっと笑顔でいられるはずです。最後に、みなさまのご健勝と南光台中学校の更なる発展をお祈りし、答辞と致します。



予餞式 心温まる会となりました

2月29日（木）に予餞式（3年生を送る会）を行いました。生徒会の楽しい企画や3年生が入学してからずっと撮りためてきた写真のスライドショー、異動された先生方からのビデオメッセージなどを視聴しました。3年生は懐かしい映像の数々をかけ声や拍手を送りながら温かい気持ちで眺めていました。また、1、2年生による部活動ごとの発表や群読でのメッセージ・合唱と合わせて3年生へ贈りました。感動と感謝があふれる会となりました。



他県交流事業（埼玉県・上青木中）

埼玉県・上青木中学校の生徒と本校1年生が体育・体つくり運動（8の字縄跳び）の一環として、ステージ中央にあるスクリーンを通して、どちらが多くの8の字縄跳びができるかを競い合うなどの交流事業を行いました。



故郷復興プロジェクト

毎日、仙台市の児童・生徒による故郷復興プロジェクトを東日本大震災以降実施されており、七夕期間には、藤崎アパート前に仙台市内の小中学生による折鶴が飾られています。今年度、本校では東日本大震災について1年生が河北新報社とともに震災学習を行ってきたため、会議室を発表会場として、その活動のまとめをオンラインで各学級に配信し、全校生徒で震災について考えました。



表彰の記録

●市小中図工美術合同展	美術科	絵画の部 立体の部	入選 入選	O・Y A・M	A・W	S・Y
●市小中図工技家合同展	家庭科		入選	O・K F・R	S・N N・R	K・A
	技術科		入選	A・M O・K	O・K A・H	O・Y U・M
●泉地区学校警察連絡協議会		善行篤行生徒		K・K		
●仙台市PTA協議会		善行篤行生徒		K・Y		
●市書きぞめ展覧会		毛筆の部	入選	M・Y T・M	S・N S・W	S・R
		硬筆の部	入選	M・E S・M	Y・H S・W	O・K F・M
●文集「こだま」68号		短歌の部 俳句の部	入選 入選	S・M H・N	S・K	S・R K・A

4月の主な行事予定

日	曜	行事等	日	曜	行事等
8	月	新クラス発表・着任式・始業式	18	木	全国学力学習状況調査・各種委員会
9	火	入学式	20	土	授業参観・学年・学級保護者会
10	水	発育測定・写真撮影・対面式	22	月	振替休業日
12	金	仙台市標準学力検査	26	金	部活動集会
15	月	I期時間割開始	5/8	水	PTA運営委員会
17	水	補助教材集金	14	火	1年天文台学習